

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 24 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	後藤 啓
研究課題	1. 労働者の能力分布の違いが国際分業とオフショアのパターンに与える影響の分析 2. 一国および地域の人口動態に関する空間経済研究				
研究キーワード	オフショア、貿易、所得格差、出生率、地域統合	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	10.人や国の不平等をなくそう	1. 貧困をなくそう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>研究課題 1 については、Goto, Ma, and Takeuchi (2022)の内容を大幅に改訂し、労働者のより一般的なスキル分布の下、スキル分布間の確率優越や生産量のスキルレベルに関する弾力性と貿易・オフショアのパターンの関係、および厚生分析を行った。研究成果は <i>Journal of Economic Theory</i> に採択されている。研究課題 2 については、Goto and Minamimura (2023)の改定をし、経済統合と長寿化が、産業集積、出生率、人口規模に与える影響を、特に短期と長期の効果に分けて分析した。また、都市内部の通勤構造を考慮した空間経済モデルを構築し、リモートワークが出生率に与える影響の分析を行っている。研究成果は 2025 年度に論文として公開する予定である。</p> <p>[1] Goto, Hiroshi, Yan Ma, and Nobuyuki Takeuchi. (2022) “Skill Diversity and Offshoring” Graduate School of Business Administration KOBE UNIVERSITY Discussion Paper Series, No. 2022-13</p> <p>[2] Goto, Hiroshi and Keiya Minamimura (2023) “Agglomeration, Fertility, and Life Expectancy.” SSRN: http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4454117</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文 (査読あり)】</p> <p>Goto Hiroshi, Yan Ma, and Nobuyuki Takeuchi (2025) “Offshoring and the Distribution of Skills” <i>Journal of Economic Theory</i>: https://doi.org/10.1016/j.jet.2025.105994</p> <p>3. 主な経費</p> <p>研究打ち合わせのための出張、論文の英文校閲費に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>【科学研究費】</p> <p>基盤研究 C(代表者: 濱口申明): 令和 5 年度～令和 7 年度, 分担, 課題名『コミュニケーションシステムと都市地域空間の発展: 東京一極集中と働き方改革への示唆』</p> <p style="text-align: right;">(本文は 2 ページ以内にとめること)</p>					